

平成30年度 塩谷地区 さくら市支部研修報告

会長名	氏名 和田 利江	学校名 さくら市立氏家中学校	研修担当者	氏名 井上 茂夫	学校名 さくら市立上松山小学校	会員数	11名
支部の研修テーマ及び地域の現状や特色							
研修テーマ 現状と特色	「さくら市の学校事務の改善を図る」 今年度も氏家小学校に共同実施のための加配があるが、新採者が配置され、世代交代も進んできている。複数の学校の事務職員が共同で業務を実施したり、事務支援をしたりすることにより事務改善をさらに図り、学校経営を支える学校事務職員を目指す。						
研修日等	研修会の主な内容					研修会主催者	
5月15日(火) 会場：喜連川庁舎 時間：13:30～16:30	○本年度の研修計画について ○共同実施「本年度の研修計画」					さくら市学校事務研究会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
5月25日(金) 会場：氏家小学校 時間：13:30～16:30	○第1回共同実施推進協議会 ○共同実施「諸帳簿互審会(3月分)」					さくら市教育委員会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
6月22日(金) 会場：喜連川庁舎 時間：13:30～16:30	○共同実施「テーマ研修 会計処理について」					さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
7月6日(金) 会場：喜連川庁舎 時間：9:00～16:30	○市教委との情報交換 ○備品台帳システムについて ○就学援助、給食費等の未納対策について ＜市教委担当者と合同研修＞					さくら市学校事務研究会	
8月6日(月) 会場：喜連川庁舎 時間：8:30～16:30	○市教育長講話 ○市教委との情報交換 ○就学援助、給食費等の未納対策について ＜市教委担当者と合同研修＞ ○共同実施「テーマ研修 児童生徒の転出入について」					さくら市学校事務研究会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
9月6日(木) 会場：喜連川庁舎 時間：9:00～16:30	○給与旅費事務の互審会(住居手当・扶養手当・児童手当) ○共同実施「諸帳簿互審会(4～8月分)」					さくら市学校事務研究会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
9月25日(火) 会場：喜連川庁舎 時間：13:30～16:30	○共同実施「諸帳簿互審会(4～8月分)」 「テーマ研修 情報提供(各種事例・研修報告)」					さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
10月16日(火) 会場：喜連川庁舎 時間：9:00～16:30	○市教委との情報交換 ○就学援助、給食費等の未納対策について ＜市教委担当者と合同研修＞ ○文書分類表について					さくら市学校事務研究会	
11月20日(火) 会場：喜連川庁舎 時間：13:30～16:30	○共同実施「年末調整互審会」 「実務研修(給与・労務関係)」					さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
12月13日(木) 会場：喜連川庁舎 時間：9:00～16:30	○給与旅費事務の互審会(通勤手当・旅費) ○共同実施「諸帳簿互審会(9～11月分)」					さくら市学校事務研究会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
1月18日(金) 会場：喜連川庁舎 時間：13:30～16:30	○市教委との情報交換 ○就学援助、給食費等の未納対策について ＜市教委担当者と合同研修＞ ○今年度の研修のまとめ ○共同実施「今年度の反省」					さくら市学校事務研究会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
2月26日(火) 会場：氏家小学校 時間：9:00～16:30	○共同実施「諸帳簿互審会(12～3月分)・口座確認」 ○第2回共同実施推進協議会					さくら市教育委員会 さくら市立学校事務共同 実施推進協議会	
研修成果と課題							
<p>研修を通して、全校で給与・旅費や労務関係諸帳簿等の互審及び事例検討を行うことにより、事前に各種帳簿等の正確な処理や確認等ができた。また、事例検討や情報提供等により、お互いの知識を深めることや情報の共有等もでき、経験年数が浅い職員や臨時職員にとっての研修の場にもなった。</p> <p>今年度も市教委担当者と合同で研修を行い、就学援助や児童手当の給食費充当についての要綱や様式、システム等のさらなる見直しにより、さらに改善することができた。あわせて、就学援助事務の手引きも完成し、H31年度分から新システムで実施することができた。</p> <p>そして、さくら市内小中学校共通で使用している文書分類表も継続見直しを行い、次年度に向けて準備した。</p> <p>共同実施では、研修を深めたい内容(テーマ)を設定し、テーマごとに担当を決め、ベテラン事務長が研修を進めながら、全員で知識を深めて共有することができた。</p> <p>また、諸帳簿互審を定期的に行い、各校の諸帳簿のミス等を無くすことができた。</p> <p>次年度も、情報や知識の共有や若手育成の場(OJT)として、さらなる研修の充実を図っていきたい。</p>							